

防水工事の標準見積書について

(一社)全国防水工事業協会

(目的)

建設産業の持続的な発展に必要な人材の確保と企業間の健全な競争環境の構築には、行政と建設業者が一体となって社会保険の加入を促進する必要がある。

このため、全防協は、防水工事費の見積書に事業者として負担する法定福利費の額を明示するための標準見積書を作成することにより請負契約の見積もり時から、各社の実情に応じた法定福利費の額を簡便に算定できるよう作成手順書を策定し、適正な法定福利費の確保に努めるものとする。

(見積りの方法)

防水工事費に含まれる法定福利費は、3工法に分類した工法毎に「法定福利費率」を積算し、これを見積書に明記することにより、請負契約の見積もり時から適正な法定福利費の確保に努めるものとする。

これを会員自ら徹底するとともに、下請企業に対しても周知・徹底等の要請を行うものである。

(防水工事標準見積書作成の考え方)

防水工事には、大別してアスファルト防水、シート防水、塗膜防水、セメント系防水、シーリング防水の工法があり、各工法において防水材料の種類により、さらに細分化されている。

国土交通省の官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書」(建築工事編)第9章防水工事の2節アスファルト防水には24種類の仕様が規定されているが、実際には多くの防水材料メーカーがそれぞれ仕様を定めているため、アスファルト防水だけで530もの仕様が存在している。

さらに現場における建物の大小・形状、立ち上がりの有無等により、その労務費は変動してしまう。

このような事情を勘案した結果、数多くの工法・仕様がある防水工事ではその仕様毎に法定福利費の内訳を明示した標準見積書を作成することには無理があるため、代表的なメンブレン防水(アスファルト・塗膜・シート防水の総称)とセメント系防水(ポリマーセメント系防水・ケイ酸質系防水)、シーリング防水の3工法に分類し、それぞれについて㎡当りの法定福利費の比率(%)を算出した。

なお、国土交通省より法定福利費の算出方法として、①当該工事に係る労務費の総額を算出し、それに法定福利費の保険料率を乗じる方法、②工事費の総額に平均的な法定福利費の割合を乗じて算出する方法、③工事数量に数量当たりの平均的な法定福利費を乗じて算出する方法、の3通りが示されているが、当協会は防水工事の標準見積書における法定福利費の算出方法として、②の総額方式を採用することとした。

2025年度の各保険の保険料率について

※. 協会けんぽ 東京支部 加入の場合

○事業主負担

①雇用保険	健康保険			③厚生年金保険	法定福利費 (①+②+③)
	健康保険料率	介護保険料率	②健康保険		
1.10%	4.955%	+ 0.449%	= 5.404%	9.510%	16.014%

[各保険料率の根拠]

①雇用保険 : 建設の事業に係る保険料率 1.10%

②健康保険 :

健康保険料率 : 9.91% (協会けんぽ東京支部) を事業主・被保険者で折半。

介護保険料率 : 1.59% (協会けんぽ東京支部で介護保険第2号被保険者) を事業主・被保険者で折半し、介護保険の対象である40歳以上64歳以下の割合56.5% (協会けんぽ 令和4年度事業年報) を乗じた比率。

※. 介護保険料率の算式 = $1.59\% \div 2 \times 56.5\% = 0.449\%$
(小数点第3位未満四捨五入)

③厚生年金保険 : 18.3% を事業主・被保険者で折半。子ども・子育て拠出金率の0.36% を全額事業主負担。

※1. 厚生年金保険料率の算式

$$18.3\% \div 2 + 0.36\% = 9.510\%$$

※2. 厚生年金保険の保険料率は、平成29年度まで毎年引き上げが行なわれてきましたが、今後法律改正が行われない限り、現行の率(18.3%)が維持されます。

※3. 2025年度の子ども・子育て拠出金率は、0.36%で前年度から据え置きとなります。

2025年度 都道府県別 社会保険料率一覧

都道府県名	雇用保険料率 事業主負担分	健康保険料率 事業主負担分	介護保険料率 事業主負担分	厚生年金保険料率 事業主負担分	保険料率合計 (全て加入の場合)
北海道	1.10%	5.155%	0.449%	9.510%	16.214%
青森県	1.10%	4.925%	0.449%	9.510%	15.984%
岩手県	1.10%	4.810%	0.449%	9.510%	15.869%
宮城県	1.10%	5.055%	0.449%	9.510%	16.114%
秋田県	1.10%	5.005%	0.449%	9.510%	16.064%
山形県	1.10%	4.875%	0.449%	9.510%	15.934%
福島県	1.10%	4.810%	0.449%	9.510%	15.869%
茨城県	1.10%	4.835%	0.449%	9.510%	15.894%
栃木県	1.10%	4.910%	0.449%	9.510%	15.969%
群馬県	1.10%	4.885%	0.449%	9.510%	15.944%
埼玉県	1.10%	4.880%	0.449%	9.510%	15.939%
千葉県	1.10%	4.895%	0.449%	9.510%	15.954%
東京都	1.10%	4.955%	0.449%	9.510%	16.014%
神奈川県	1.10%	4.960%	0.449%	9.510%	16.019%
新潟県	1.10%	4.775%	0.449%	9.510%	15.834%
富山県	1.10%	4.825%	0.449%	9.510%	15.884%
石川県	1.10%	4.940%	0.449%	9.510%	15.999%
福井県	1.10%	4.970%	0.449%	9.510%	16.029%
山梨県	1.10%	4.945%	0.449%	9.510%	16.004%
長野県	1.10%	4.845%	0.449%	9.510%	15.904%
岐阜県	1.10%	4.965%	0.449%	9.510%	16.024%
静岡県	1.10%	4.900%	0.449%	9.510%	15.959%
愛知県	1.10%	5.015%	0.449%	9.510%	16.074%
三重県	1.10%	4.995%	0.449%	9.510%	16.054%
滋賀県	1.10%	4.985%	0.449%	9.510%	16.044%
京都府	1.10%	5.015%	0.449%	9.510%	16.074%
大阪府	1.10%	5.120%	0.449%	9.510%	16.179%
兵庫県	1.10%	5.080%	0.449%	9.510%	16.139%
奈良県	1.10%	5.010%	0.449%	9.510%	16.069%
和歌山県	1.10%	5.095%	0.449%	9.510%	16.154%
鳥取県	1.10%	4.965%	0.449%	9.510%	16.024%
島根県	1.10%	4.970%	0.449%	9.510%	16.029%
岡山県	1.10%	5.085%	0.449%	9.510%	16.144%
広島県	1.10%	4.985%	0.449%	9.510%	16.044%
山口県	1.10%	5.180%	0.449%	9.510%	16.239%
徳島県	1.10%	5.235%	0.449%	9.510%	16.294%
香川県	1.10%	5.105%	0.449%	9.510%	16.164%
愛媛県	1.10%	5.090%	0.449%	9.510%	16.149%
高知県	1.10%	5.065%	0.449%	9.510%	16.124%
福岡県	1.10%	5.155%	0.449%	9.510%	16.214%
佐賀県	1.10%	5.390%	0.449%	9.510%	16.449%
長崎県	1.10%	5.205%	0.449%	9.510%	16.264%
熊本県	1.10%	5.060%	0.449%	9.510%	16.119%
大分県	1.10%	5.125%	0.449%	9.510%	16.184%
宮崎県	1.10%	5.045%	0.449%	9.510%	16.104%
鹿児島県	1.10%	5.155%	0.449%	9.510%	16.214%
沖縄県	1.10%	4.720%	0.449%	9.510%	15.779%

※1. 雇用保険料率 厚生労働省ホームページ(2025年度の雇用保険料率について)

※2. 健康保険料率 全国健康保険協会(協会けんぽ)ホームページ [2025年度保険料額表]
 厚生年金保険料率

※3. 介護保険料率 厚生労働省保険局「健康保険・船員保険被保険者実態調査」

○資料出典内容一覧

防水種別		設計価格	労務費	市場比率
メン ブレ ン	アスファルト防水	日本防水材料協会(JWMA)の メーカー5社の平均	経済調査会 令和5年度版 工事歩掛要覧より	2011年版 矢野経済研究所 防水材料市場白書
	合成高分子ルーフィング 防水	日本防水材料協会(JWMA)の メーカー9社の平均	JWMAのメーカー 9社の 設計価格構成の平均労務費	2011年版 矢野経済研究所 防水材料市場白書
	塗膜防水	日本防水材料協会(JWMA)の メーカー10社の平均	JWMAのメーカー10社の 設計価格構成の平均労務費	2011年版 矢野経済研究所 防水材料市場白書
シーリング防水		公表材料価格より設計労務単価を 考慮し設定	経済調査会 令和5年度版 工事歩掛要覧より	2011年 日本シーリング材 工業会 生産数量から算出
セメント系防水 (ポリマーセメント系・ケイ酸質系)		セメント系防水材料メーカー8社の 公表設計価格の平均	セメント系防水材料メーカー8社の公表 設計価格構成の労務費の平均	メーカー団体(※)から日本建築 学会に提出した施工面積統計

※. ポリマーセメント系塗膜防水協議会、ケイ酸質系塗布防水材料協議会の2団体

○メーカー設計価格及び労務費の平均値

防水種別		部位など	設計価格	設計価格構成の平均労務費
メン ブレ ン	アスファルト防水	平面部	13,905 円/㎡	—
		立上り	16,172 円/㎡	—
	合成高分子ルーフィング 防水	平面部	12,433 円/㎡	3,064 円/㎡
		立上り	9,179 円/㎡	3,124 円/㎡
	塗膜防水	平面部	11,170 円/㎡	2,445 円/㎡
		立上り	10,493 円/㎡	3,123 円/㎡
シーリング防水		1成分形	7,148 円/ℓ	—
		2成分形	3,589円/ℓ	—
セ メン ト 系	ポリマーセメント系防水	平面部	7,247円/㎡	2,122 円/㎡
		立上り	7,247 円/㎡	2,142 円/㎡
	ケイ酸質系塗布防水	平面部・立上りの区別なし	3,587 円/㎡	1,204.7 円/㎡

○防水工事現場における平面部と立上り部の施工面積比率について

会員企業に対してアンケート調査を実施して集計(平成25年5月)

[メンブレン防水]	111件
平面部	… 84.1%
立上り部	… 15.9%
計	100.0%

[セメント系防水]	28件
平面部	… 34.7%
立上り部	… 65.3%
計	100.0%

○設計価格構成の平均労務費を使用するときは、東京の地域調整率を1として地域調整を行う。

その地区の設計価格構成の労務費 ÷ 東京都の平均労務費 = 地域調整率

2025年度都道府県別公共工事設計労務単価(防水工・普通作業員)

所定労働時間8時間当たりの金額(単位:円)

都道府県名	防水工	普通作業員	都道府県名	防水工	普通作業員
北海道	31,200	20,900	大阪府	28,400	23,300
秋田県	28,600	22,000	京都府	28,300	23,800
青森県	27,800	21,700	滋賀県	28,200	22,700
岩手県	27,800	23,100	奈良県	28,300	23,400
宮城県	30,300	22,900	和歌山県	28,000	23,600
山形県	32,100	22,100	兵庫県	27,400	23,500
福島県	31,500	23,000	近畿平均	28,100	23,383
東北平均	29,683	22,467	岡山県	28,400	21,100
茨城県	32,000	24,900	広島県	27,300	21,900
群馬県	30,600	24,800	山口県	26,700	19,900
栃木県	33,700	23,800	鳥取県	27,700	17,900
埼玉県	34,500	25,400	島根県	26,400	19,200
千葉県	34,700	25,100	中国平均	27,300	20,000
東京都	36,100	26,800	徳島県	26,600	23,400
神奈川県	32,800	26,500	香川県	26,700	24,000
山梨県	32,400	26,400	愛媛県	26,300	21,000
長野県	30,000	24,100	高知県	26,000	21,200
関東・甲信平均	32,978	25,311	四国平均	26,400	22,400
静岡県	31,400	26,000	福岡県	28,400	23,100
愛知県	30,900	24,800	大分県	28,300	19,800
三重県	30,500	23,700	佐賀県	28,600	19,800
岐阜県	28,600	24,800	長崎県	28,200	20,800
中部平均	30,350	24,825	熊本県	28,400	21,300
新潟県	27,800	22,900	宮崎県	28,000	19,300
富山県	28,000	24,400	鹿児島県	28,000	20,800
石川県	29,200	25,300	沖縄県	37,300	22,300
福井県	27,500	21,300	九州・沖縄平均	29,400	20,900
北陸平均	28,125	23,475	全国平均	29,487	22,847

1. アスファルト防水工事における法定福利費率の計算式

〔平面部〕 ※1	※2	※3		※4	
設計労務単価(a)	法定福利費率(b)	歩掛	m ² 当りの法定福利費	平均設計単価	法定福利費率(i)
防水工	× 0.16014	× (c)	(d) + (f)	(h)	(g) ÷ (h) × 100
普通作業員	× 0.16014	× (c)	= (g)		

〔立上り部〕 ※1	※2	※3		※4	
設計労務単価(a')	法定福利費率(b')	歩掛	m ² 当りの法定福利費	平均設計単価	法定福利費率(i')
防水工	× 0.16014	× (c')	(d') + (f')	(h')	(g') ÷ (h') × 100
普通作業員	× 0.16014	× (c')	= (g')		

〔アスファルト防水工事における平面部と立上り部の施工面積比率〕	※5
平面部	84.1% × (i) = (j)
立上り部	15.9% × (i') = (j')

〔アスファルト防水工事における法定福利費比率〕

$$(j) + (j') = X$$

- ※1. 2025年度公共工事設計労務単価を記載例として掲載（5頁）
 ※2. 2025年度の各保険の保険料率について（2頁）〔東京都の場合〕
 ※3. 「工事歩掛要覧」（令和6年度版）〔経済調査会刊〕を記載例として掲載
 ※4. 日本防水材料協会（JWMA）のメーカー5社平均値を記載例として掲載（4頁）
 ※5. 防水工事現場における平面部と立上り部の施工面積比率について（4頁）

2. 合成高分子ルーフィングシート防水の法定福利費率の計算式

〔平面部〕	※1	※2	※3
平均労務費	× 地域調整率	× 法定福利費率(b)	= m ² 当りの法定福利費
(a)		0.16014	(c)
			m ² 当りの法定福利費
			平均設計単価
			(c) ÷ (d) × 100
			法定福利費率
			= (e)

〔立上り部〕	※1	※2	※3
平均労務費	× 地域調整率	× 法定福利費率(b')	= m ² 当りの法定福利費
(a')		0.16014	(c')
			m ² 当りの法定福利費
			平均設計単価
			(c') ÷ (d') × 100
			法定福利費率
			= (e')

〔合成高分子ルーフィングシート防水工事における平面部と立上り部の施工面積比率〕※4

平面部	84.1%	× (e)	= (f)
立上り部	15.9%	× (e')	= (f')

〔合成高分子ルーフィングシート防水工事における法定福利費比率〕

$$(f) + (f') = Y$$

- ※1. メーカー各社の設計労務費の平均値を記載例として掲載（4頁）
 ※2. 2025年度の各保険の保険料率について（2頁）〔東京都の場合〕
 ※3. メーカー各社の設計価格の平均値を記載例として掲載（4頁）
 ※4. 防水工事現場における平面部と立上り部の施工面積比率について（4頁）

3. 塗膜防水の法定福利費率の計算式

[平面部]

$$\begin{array}{ccccccc} & \text{※1} & & & \text{※2} & & \\ \text{平均労務費} & \times & \text{地域調整率} & \times & \text{法定福利費率(b)} & = & \text{㎡当りの法定福利費} \\ \text{(a)} & & & & 0.16014 & & \text{(c)} \end{array}$$

※3	
㎡当りの法定福利費 (c)	平均設計単価 (d) × 100
法定福利費率 = (e)	

[立上り部]

$$\begin{array}{ccccccc} & \text{※1} & & & \text{※2} & & \\ \text{平均労務費} & \times & \text{地域調整率} & \times & \text{法定福利費率(b')} & = & \text{㎡当りの法定福利費} \\ \text{(a')} & & & & 0.16014 & & \text{(c')} \end{array}$$

※3	
㎡当りの法定福利費 (c')	平均設計単価 (d') × 100
法定福利費率 = (e')	

[塗膜防水工事における平面部と立上り部の施工面積比率]※4

平面部	84.1%	× (e)	=	(f)
立上り部	15.9%	× (e')	=	(f')

[塗膜防水工事における法定福利費比率]

(f) + (f') = Z

- ※1. メーカー各社の設計労務費の平均値を記載例として掲載 (4頁)
- ※2. 2025年度の各保険の保険料率について (2頁) [東京都の場合]
- ※3. メーカー各社の設計価格の平均値を記載例として掲載 (4頁)
- ※4. 防水工事現場における平面部と立上り部の施工面積比率について (4頁)

4. メンブレン防水の法定福利費率(矢野経済研究所 2011年版「防水材市場白書」より)

	市場占有率	×	計算値	=	調整値
アスファルト防水	0.310	×	X	=	(X1)
合成高分子系ルーフィングシート防水	0.354	×	Y	=	(Y1)
塗膜防水	0.336	×	Z	=	(Z1)
合計					(X1)+(Y1)+(Z1)

資料3 (シーリング防水)

[1成分形シーリング材]	※1		※2		修正価格
材料種別	平均価格		市場比率		
シリコーン	(a1)	×	0.4381	=	(b1)
変成シリコーン	(a2)	×	0.3614	=	(b2)
ポリウレタン系	(a3)	×	0.2005	=	(b3)
合計					(c)

$$1\text{L当りの材料費 (c)} \times \text{使用量 } 0.055 = \text{m当りの材料費 (d)}$$

設計価格(一般業価格内訳より)

シーリング材					(d)
補足材	(d) × 10%				(e)
	※3		※4		
防水工	0.027 × 設計労務単価(f)	=			(g)
その他	上記の13%				(h)
合計	[(d) + (e) + (g)]	×	0.13		(i)

$$\text{m当りの法定福利費(j)} = (g) \times 0.16014 \quad ※5$$

$$\text{法定福利費率(k)} = (j) \div (i) \times 100$$

- ※1. 日本シーリング材工業会メーカー4社の平均値を記載例として掲載
- ※2. 日本シーリング材工業会の生産量より
- ※3. 「工事歩掛要覧」(令和6年度版)〔経済調査会刊〕を記載例として掲載
- ※4. 2025年度公共工事設計労務単価を記載例として掲載(5頁)
- ※5. 2025年度の各保険の保険料率について(2頁)〔東京都の場合〕

[2成分形シーリング材]	※1		※2		修正価格
材料種別	平均価格		市場比率		
シリコーン	(a1')	×	0.0465	=	(b1')
変成シリコーン	(a2')	×	0.4454	=	(b2')
ポリサルファイド	(a3')	×	0.0912	=	(b3')
ポリウレタン系	(a4')	×	0.4169	=	(b4')
合計					(c')

$$1\text{L当りの材料費 (c')} \times \text{使用量 } 0.25 = \text{m当りの材料費 (d')}$$

設計価格(一般業価格内訳より)

シーリング材					(d')
補足材	(d') × 10%				(e')
	※3		※4		
防水工	0.039 × 設計労務単価(f')	=			(g')
その他	上記の13%				(h')
合計	[(d') + (e') + (g')]	×	0.13		(i')

$$\text{m当りの法定福利費(j')} = (g') \times 0.16014 \quad ※5$$

$$\text{法定福利費率(k')} = (j') \div (i') \times 100$$

- ※1. 日本シーリング材工業会メーカー4社の平均値を記載例として掲載
- ※2. 日本シーリング材工業会の生産量より
- ※3. 「工事歩掛要覧」(令和6年度版)〔経済調査会刊〕を記載例として掲載
- ※4. 2025年度公共工事設計労務単価を記載例として掲載(5頁)
- ※5. 2025年度の各保険の保険料率について(2頁)〔東京都の場合〕

○シーリング防水の法定福利費率(日本シーリング材工業会の生産数量の統計より)

	市場占有率		計算値		合計値
1成分形シーリング材	0.552	×	(k)	=	(k1)
2成分形シーリング材	0.448	×	(k')	=	(k'1)
合計					(k1) + (k'1)

1. アスファルト防水工事における法定福利費率の計算式(A-1仕様)

[平面部]	※1	※2	※3			※4	
設計労務単価(a)		法定福利費率(b)	歩掛		m ² 当りの法定福利費	平均設計単価	法定福利費率(i)
30,900 ×	0.16074 ×		0.081	=	402.32 + 103.65	13,660円/m ²	505.96 ÷ 13,660 × 100
24,800 ×	0.16074 ×		0.026	=	505.96	(A-1仕様)	3.704

[立上り部]	※1	※2	※3			※4	
設計労務単価(a')		法定福利費率(b')	歩掛		m ² 当りの法定福利費	平均設計単価	法定福利費率(i')
30,900 ×	0.16074 ×		0.130	=	645.69 + 163.44	18,100円/m ²	809.13 ÷ 18,100 × 100
24,800 ×	0.16074 ×		0.041	=	809.13	(A-1仕様)	4.470

[アスファルト防水工事における平面部と立上り部の施工面積比率]	※5
平面部	84.1% × 3.704 = 0.03115
立上り部	15.9% × 4.470 = 0.00711

[アスファルト防水工事(A-1仕様)における法定福利費比率]
 0.03115 + 0.00711 = 0.03628 ⇒ アスファルト防水の全仕様の法定福利費率の平均値は 0.03817

- ※1. 2025年度公共工事設計労務単価を記載例として掲載(5頁)
- ※2. 2025年度の各保険の保険料率について(2頁)
- ※3. 「工事歩掛要覧」(令和6年度版)[経済調査会刊]を記載例として掲載
- ※4. 日本防水材料協会(JWMA)のメーカー5社平均値を記載例として掲載(A-1仕様)
- ※5. 防水工事現場における平面部と立上り部の施工面積比率について(4頁)

2. 合成高分子ルーフィングシート防水の法定福利費率の計算式

[平面部]	※1	※2	※3
平均労務費 × 地域調整率 × 法定福利費率(b)	=	m ² 当りの法定福利費	m ² 当りの法定福利費 ÷ 平均設計単価 × 100 = 法定福利費率
3,064 × 0.8560 × 0.16074	=	421.56	421.56 ÷ 12,433 × 100 = 3.391

[立上り部]	※1	※2	※3
平均労務費 × 地域調整率 × 法定福利費率(b')	=	m ² 当りの法定福利費	m ² 当りの法定福利費 ÷ 平均設計単価 × 100 = 法定福利費率
3,124 × 0.8560 × 0.16074	=	429.82	429.82 ÷ 9,179 × 100 = 4.683

[合成高分子ルーフィングシート防水工事における平面部と立上り部の施工面積比率] ※4	
平面部	84.1% × 3.391 = 0.02852
立上り部	15.9% × 4.683 = 0.007446

[合成高分子ルーフィングシート防水工事における法定福利費比率]
 0.02852 + 0.007446 = 0.03597

- ※1. メーカー各社の設計労務費の平均値を記載例として掲載(4頁)
- ※2. 2025年度の各保険の保険料率について(2頁)
- ※3. メーカー各社の設計価格の平均値を記載例として掲載(4頁)
- ※4. 防水工事現場における平面部と立上り部の施工面積比率について(4頁)

3. 塗膜防水の法定福利費率の計算式

〔平面部〕

	※1		※2		※3	
平均労務費	×	地域調整率	×	法定福利費率(b)	=	m ² 当りの法定福利費
2,445		0.8560		0.16074		336.40

$\frac{336.40}{11,170} \times 100 = 3.012$	$\frac{\text{m}^2\text{当りの法定福利費}}{\text{平均設計単価}} \times 100 = \text{法定福利費率}$
--	--

〔立上り部〕

	※1		※2		※3	
平均労務費	×	地域調整率	×	法定福利費率(b')	=	m ² 当りの法定福利費
3,123		0.8560		0.16074		429.68

$\frac{429.68}{10,493} \times 100 = 4.095$	$\frac{\text{m}^2\text{当りの法定福利費}}{\text{平均設計単価}} \times 100 = \text{法定福利費率}$
--	--

〔塗膜防水工事における平面部と立上り部の施工面積比率〕※4

平面部	84.1%	×	3.0120	=	0.02533
立上り部	15.9%	×	4.095	=	0.006511

〔塗膜防水工事における法定福利費比率〕

$$0.02533 + 0.006511 = 0.03184$$

- ※1. メーカー各社の設計労務費の平均値を記載例として掲載（4頁）
- ※2. 2025年度の各保険の保険料率について（2頁）
- ※3. メーカー各社の設計価格の平均値を記載例として掲載（4頁）
- ※4. 防水工事現場における平面部と立上り部の施工面積比率について（4頁）

4. メンブレン防水の法定福利費率(矢野経済研究所 2011年版「防水材市場白書」より)

	市場占有率	×	計算値	=	調整値	
アスファルト防水	0.310		0.03817(※)		0.01183	※. アスファルト防水全仕様の計算値
合成高分子系ルーフィングシート防水	0.354		0.03597		0.01273	
塗膜防水	0.336		0.03184		0.01070	
					0.03526	

1. ポリマーセメント系防水の法定福利費率の計算式

〔平面部〕

$$\begin{array}{ccccccc} & \text{※1} & & & \text{※2} & & \\ \text{平均労務費} & \times & \text{地域調整率} & \times & \text{法定福利費率(b)} & = & \text{㎡当りの法定福利費} \\ 2,122 & & 0.8560 & & 0.16074 & & 291.96 \end{array}$$

$$\begin{array}{ccc} & \text{※3} & \\ \text{㎡当りの法定福利費} & & \text{平均設計単価} \\ 291.96 & \div & 7,247 \times 100 \\ \text{法定福利費率} & & \\ = & & 4.029 \end{array}$$

〔立上り部〕

$$\begin{array}{ccccccc} & \text{※1} & & & \text{※2} & & \\ \text{平均労務費} & \times & \text{地域調整率} & \times & \text{法定福利費率(b')} & = & \text{㎡当りの法定福利費} \\ 2,142 & & 0.8560 & & 0.16074 & & 294.71 \end{array}$$

$$\begin{array}{ccc} & \text{※3} & \\ \text{㎡当りの法定福利費} & & \text{平均設計単価} \\ 294.71 & \div & 7,247 \times 100 \\ \text{法定福利費率} & & \\ = & & 4.067 \end{array}$$

〔ポリマーセメント系防水工事における平面部と立上り部の施工面積比率〕※4

$$\begin{array}{lcl} \text{平面部} & 34.7\% & \times 4.029 = 0.0139806 \\ \text{立上り部} & 65.3\% & \times 4.067 = 0.0265575 \end{array}$$

〔ポリマーセメント系防水工事における法定福利費比率〕

$$0.01398 + 0.026556 = 0.04054$$

※1. メーカー各社の設計労務費の平均値を記載例として掲載（4頁）

※2. 2025年度の各保険の保険料率について（2頁）

※3. メーカー各社の設計価格の平均値を記載例として掲載（4頁）

※4. 防水工事現場における平面部と立上り部の施工面積比率について（4頁）

2. ケイ酸質系防水の法定福利費率の計算式

〔平面部・立上り部の区別なし〕

$$\begin{array}{ccccccc} & \text{※1} & & & \text{※2} & & \\ \text{平均労務費} & \times & \text{地域調整率} & \times & \text{法定福利費率(b)} & = & \text{㎡当りの法定福利費} \\ 1,204.7 & & 0.8560 & & 0.16074 & & 165.75 \end{array}$$

$$\begin{array}{ccc} & \text{※3} & \\ \text{㎡当りの法定福利費} & & \text{平均設計単価} \\ 165.75 & \div & 3,587 \times 100 \\ \text{法定福利費率} & & \\ = & & 4.621 \end{array}$$

〔ケイ酸質系防水工事における法定福利費比率〕

$$4.621$$

※1. メーカー各社の設計労務費の平均値を記載例として掲載（4頁）

※2. 2025年度の各保険の保険料率について（2頁）

※3. メーカー各社の設計価格の平均値を記載例として掲載（4頁）

3. セメント系防水の法定福利費率(矢野経済研究所 2011年版「防水材市場白書」より)

	市場占有率		計算値		調整値
ポリマーセメント系防水	0.7551	×	0.04054	=	0.03061
ケイ酸質系防水	0.2449	×	0.04621	=	0.01132
合計					0.04193

[1成分形シーリング材]	※1		※2		
材料種別	平均価格		市場比率		修正価格
シリコーン	7427.5	×	0.4381	=	3254.0
変成シリコーン	7482.5	×	0.3614	=	2704.2
ポリウレタン系	5935.0	×	0.2005	=	1190.0
合計					7148.1

10当りの材料費		使用量		m当りの材料費
7148.1	×	0.055	=	393.1

設計価格(一般業価格内訳より)

シーリング材					393.1
補足材	393.1 × 10%				= 39.3
防水工	※3	※4			
その他	0.027 × 30,900				= 834.3
	上記の13%				
	[393.1 + 39.3 + 834.3]	×	0.13	=	164.67
合計					1431.4

m当りの法定福利費(j) 834.3 × 0.16074 = 134.11 ※5

法定福利費率(k) 134.11 ÷ 1431.4 × 100 = 9.369

※1. 日本シーリング材工業会メーカー4社の平均値を記載例として掲載

※2. 日本シーリング材工業会の生産量より

※3. 「工事歩掛要覧」(令和6年度版)〔経済調査会刊〕を記載例として掲載

※4. 2025年度公共工事設計労務単価を記載例として掲載(5頁)

※5. 2025年度の各保険の保険料率について(2頁)

[2成分形シーリング材]	※1		※2		
材料種別	平均価格		市場比率		修正価格
シリコーン	8,500.0	×	0.0465	=	395.3
変成シリコーン	4,062.5	×	0.4454	=	1809.4
ポリサルファイド	3,862.5	×	0.0912	=	352.3
ポリウレタン系	2,475.0	×	0.4169	=	1031.8
合計					3588.8

10当りの材料費		使用量		m当りの材料費
3588.8	×	0.25	=	897.2

設計価格(一般業価格内訳より)

シーリング材					897.2
補足材	897.2 × 10%				= 89.7
防水工	※3	※4			
その他	0.039 × 30,900				= 1205.1
	上記の13%				
	[897.2 + 89.7 + 1205.1]	×	0.13	=	285.0
合計					2477.0

m当りの法定福利費(j') 1205.1 × 0.16074 = 193.7 ※5

法定福利費率(k') 193.7 ÷ 2,477.0 × 100 = 7.820

※1. 日本シーリング材工業会メーカー4社の平均値を記載例として掲載

※2. 日本シーリング材工業会の生産量より

※3. 「工事歩掛要覧」(令和6年度版)〔経済調査会刊〕を記載例として掲載

※4. 2025年度公共工事設計労務単価を記載例として掲載(5頁)

※5. 2025年度の各保険の保険料率について(2頁)

○シーリング防水の法定福利費率(日本シーリング材工業会の生産数量の統計より)

	市場占有率		計算値		合計値
1成分形シーリング材	0.552	×	9.369	=	5.1717
2成分形シーリング材	0.448	×	7.820	=	3.5034
合計					8.675

各防水工法における法定福利費率

防水種別 支部	メンブレン防水(資料1)			セメント系防水(資料2)			シーリング防水(資料3)		
	最低	～	最高	最低	～	最高	最低	～	最高
北海道		～	3.549%		～	4.271%		～	8.783%
東北	3.140%	～	3.594%	3.724%	～	4.318%	8.212%	～	8.725%
関東・甲信	3.388%	～	4.082%	4.028%	～	4.880%	8.485%	～	9.151%
中部	3.272%	～	3.566%	3.869%	～	4.230%	8.388%	～	8.675%
北陸	3.121%	～	3.336%	3.716%	～	3.944%	8.194%	～	8.445%
近畿	3.155%	～	3.267%	3.733%	～	3.879%	8.302%	～	8.445%
中国	2.984%	～	3.238%	3.572%	～	3.871%	8.118%	～	8.427%
四国	2.980%	～	3.098%	3.539%	～	3.659%	8.113%	～	8.279%
九州・沖縄	3.169%	～	4.102%	3.807%	～	4.969%	8.358%	～	9.120%

(注) 1. 各支部の法定福利費率は、一例として2025年度公共工事設計労務単価から算出したものであり、この数値の使用を義務付けるものではありません。

2. 各支部の法定福利費率は、参考資料として全防協で試算したものであり、建物の大小・難易度等を勘案して、各自算出したものを使用して下さい。

御見積書

年月日

見積番号 第

株式会社 国交建設

御中

防水工業株式会社

別紙内訳書の通り御見積り申し上げます

合計金額	¥ 乙
------	-----

工 事 名	工 事 場 所	施 工 期 間
全防ビル 精 算 条 件	東京都千代田区 私 条 件	見 積 有 効 期 限
御 支 払	御 支 給 品	~
一 式 無 増 減、実 数、(実 測)	なし	3ヶ月
		特 記 事 項

名 称	摘 要	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
防水工事						
屋根 断熱アスファルト保護防水	A1-2同等品 A種押出法ホリスチレンフォーム 保温板3種160共	m ²	a	a'	a''	
屋上立上り アスファルト保護防水		m ²	b	b'	b''	
4F 屋根 加硫露出シート防水	H=1.2mm シルバー仕上げ	m ²	c	c'	c''	
立上り 加硫露出シート防水	H=1.2mm シルバー仕上げ H:550	m	d	d'	d''	
(小計)				$A=a'+b'+c'+d''$		
1階縦横目地シリング	15*10ハック	m	e	e'	e''	
建具枠廻りシリング	PS 15*10	m	f	f'	f''	
(小計)					$B=e''+f''$	
EVピット 壁 ポリマーセメント系塗布防水		m ²	g	g'	g''	
防火水櫃 床 ポリマーセメント系塗布防水		m ²	h	h'	h''	
(小計)					$C=g''+h''$	
工事費 計					$V=A+B+C$	

